

1 国語

科目名	古 典 B	単位数	4 単位	学年	第 2 学年	科 コース	普通科 進学コース
使用教科書	三省堂「精選古典B」			副教材		学研「古語辞典」第一学習社「基礎からの古典文法」浜島書店「最新国語便覧」	

学習の到達目標

1. 「古文」と「漢文」を読む能力を養うと同時に、ものの見方・感じ方・考え方を広げる。また古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育て、日本文化の特質や日本文化と中国文化との関係について考え、生涯学習の基礎を養う。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい
一 学 期	4	博雅の三位と鬼の笛（十訓抄） 副教材「基礎からの古典文法」	読みやすい説話を通じて、古典の面白さを理解させる。 古典文法、特に助動詞の用法・活用について理解させる。
	5	小野篁、広才のこと （宇治拾遺物語）	時代を超えて楽しめる笑い話に込められた知恵を理解させる。
	6	五月五日、賀茂の競べ馬を（徒然草）	中世文学の基調となる「無常観」を理解させる。
	7	ゆく河の流れ（方丈記） 養和の飢饉（方丈記）	和漢混交文の特色や写實的描写による作者の観察の細やかな点に注意させる。 対句表現を整理しその意味を考えさせ、論理的な構成と文体の変化に富むリズムを理解させる。
二 学 期	9	春はあけぼの（枕草子） 桐壺（源氏物語）	日本文学史の伝統的な特色「自然美」に注目し、作者の美的感覚や対象の選択及び整理の仕方を考えさせる。 古典文学の最高峰であるこの作品の巻一を読み味わう。繰り返し音読させ、古文の言い回し・リズム・音便などに馴染ませる。読解では主語の省略に注意させる。〈文法〉敬語表現
	10	和泉式部と清少納言（紫式部日記）	『源氏物語』の作者が記した日記がどのようなものか、その特徴を学ぶ。宮仕え女房や宮廷サロンについて、また、和泉式部・清少納言と紫式部の関係について考える。
	11	漢詩	古体詩・近体詩の説明
	12	春夜宴桃李園序（李白）	漢詩に歌われている内容や構成を作品に即して的確に捉える。
三 学 期	1	弓争ひ（大鏡）	歴史上の事実と物語の語られ方を知り、歴史物語の特徴を理解する。
	2	四面楚歌（史記）	故事成語の成り立ちの背景を理解させる。 長文を訓読する力を身につけさせ、項王の描かれ方を考察し、その人柄を理解させる。「四面楚歌」「拔山蓋世」の四字熟語の背景を理解させる。
	3		

学習評価

1. 定期試験・小テスト・課題の提出状況・授業態度などを総合的に評価する